

農技第1090号
令和8年4月20日

関係各位

兵庫県病虫害防除所長

令和8年度病虫害発生予報第1号を発表します。

令和8年度病虫害発生予報第1号

向こう1か月の病虫害発生予想

作物名	病虫害名	発生予想	発生現況
水稻	ヒメトビウンカ	平年並	やや少
春キャベツ	黒腐病	平年並	平年並
	菌核病	平年並	平年並
	アブラムシ類	平年並	平年並
たまねぎ	灰色腐敗病	平年並	平年並
	細菌性腐敗 (腐敗病・りん片腐敗病)	やや多	平年並
	べと病	平年並	平年並
	ボトリチス属菌による 葉枯れ	平年並	平年並
	アザミウマ類 (ネギアザミウマ)	やや多	やや多
野菜等共通	ヨトウガ	平年並	平年並
	コナガ	やや多	平年並
果樹等共通	果樹カメムシ類	やや多	やや多

太文字の病虫害: 向こう1か月の間、発生状況に特に注意を要する病虫害を示す。

* 気象の概況

近畿地方 1か月予報
(4月から5月までの天候見通し)

令和8年4月16日
大阪管区気象台 発表

<予想される向こう1か月の天候>

近畿地方 1か月予報 (04/18~05/17)		
2026年04月16日14時30分 大阪管区気象台 発表		
特に注意を要する事項	期間の前半は気温がかなり高くなる見込みです。	
向こう1か月 04/18~05/17	天候	天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。
	気温	平均気温は、高い確率70%です。
	降水量	降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。
	日照時間	日照時間は、平年並または少ない確率ともに40%です。
1週目 04/18~04/24	気温	1週目は、高い確率80%です。
2週目 04/25~05/01	気温	2週目は、高い確率80%です。
3~4週目 05/02~05/15	気温	3~4週目は、高い確率50%です。

気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%)			
気温	近畿地方	向こう1か月 04/18~05/17	
		1週目 04/18~04/24	
		2週目 04/25~05/01	
		3~4週目 05/02~05/15	
降水量	近畿地方	向こう1か月 04/18~05/17	
日照時間	近畿地方	向こう1か月 04/18~05/17	

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

* 発生概況及び防除対策上の留意点

根拠中の記号

- (+) : 発生量を多くする要因
- (-) : 発生量を少なくする要因
- (±) : 発生量が平年並になる要因

水稻

1 【ヒメトビウンカ】

- (1) 予想：発生量 平年並
- (2) 根拠：発生現況 やや少 (-)
気象予報 気温は高い (+)
*発生現況は麦における発生量
その他 麦で増殖したヒメトビウンカは、その後水田に移動してイネ縞葉枯病を引き起こす原因になる。不耕起田等イネ科雑草が繁茂している圃場は、ヒメトビウンカの越冬場所になっているため、すき込みを早めに行う。

春キャベツ

1 【黒腐病】

- (1) 予想：発生量 平年並
- (2) 根拠：発生現況 平年並（発生見られず）(-)
気象予報 気温は高い (+)
降水量は平年並～多い (+)

2 【菌核病】

- (1) 予想：発生量 平年並
- (2) 根拠：発生現況 平年並 (±)
気象予報 気温は高い (±)
降水量は平年並～多い (±)

3 【アブラムシ類】

- (1) 予想：発生量 平年並
- (2) 根拠：発生現況 平年並 (±)
気象予報 気温は高い (+)
降水量は平年並～多い (-)

たまねぎ

1 【灰色腐敗病】

- (1) 予想：発生量 平年並
- (2) 根拠：発生現況 平年並 (±)
気象予報 気温は高い (±)
降水量は平年並～多い (+)

2 【細菌性腐敗（腐敗病・りん片腐敗病）】

- (1) 予想：発生量 **やや多**
- (2) 根拠：発生現況 平年並（±）
気象予報 気温は高い（+）
降水量は平年並～多い（+）
- (3) 防除上の留意点
- ア 発病株は早期発見に努め、腐敗に至る前に抜き取って圃場外で処分する。
- イ 排水不良は本病の発病を助長するので、明きょ等により圃場排水対策を徹底する。
- ウ 過剰な追肥は、葉の過剰生育をまねき軟弱になり傷みやすく、本病の発生を助長するので避ける。
- エ 病原細菌は植物体上の傷口から侵入するので、ネギアザミウマの防除も励行する。
- オ 薬剤防除は、予防的散布を心がける。薬剤の選定にあたっては、病害虫・雑草防除指導指針、地域の防除暦等を参考に農薬使用基準を守る。また、感受性低下を避けるために同系統の薬剤の連用は控える。

3 【べと病】

- (1) 予想：発生量 平年並
- (2) 根拠：発生現況 平年並（±）
気象予報 気温は高い（－）
降水量は平年並～多い（+）

4 【ボトリチス属菌による葉枯れ】

- (1) 予想：発生量 平年並
- (2) 根拠：発生現況 平年並（±）
気象予報 気温は高い（±）
降水量は平年並～多い（+）

5 【アザミウマ類（ネギアザミウマ）】

- (1) 予想：発生量 **やや多**
- (2) 根拠：発生現況 **やや多**（+）
気象予報 気温は高い（+）
降水量は平年並～多い（－）

- (3) 防除上の留意点
- ア 本種は、タマネギえそ条斑病の病原であるアイリス黄斑ウイルス（IYSV）を媒介する。今後、本種の活動が活発になることに伴って、タマネギえそ条斑病の発生及び発病拡大につながる可能性があるため、多発しないように努める。
- イ タマネギでは主に新葉が重なっている部分に生息しているので、調査にあたっては葉と葉の隙間を重点的に観察する。
- ウ 圃場内外の雑草や収穫後の残渣は、本種の増殖源やIYSVの感染源になるので、除草や残渣処分を徹底する。
- エ 薬剤防除は、病害虫・雑草防除指導指針、地域の防除暦等を参考に農薬使用

基準を守る。また、感受性低下を避けるために同系統の薬剤の連用は控える。
オ 防除にあたっては、令和7年度病害虫発生予察防除情報第10号（令和8年3月5日発表、<https://boj.o.hyogo-nourinsuisangc.jp/archives/1563>）を参考とする。

野菜等共通

1 【ヨトウガ】

- (1) 予想：発生量 平年並
- (2) 根拠：発生現況 平年並（±）
フェロモントラップへの誘殺数は平年並～やや少（±）
気象予報 気温は高い（+）
降水量は平年並～多い（-）

2 【コナガ】

- (1) 予想：発生量 **やや多**
- (2) 根拠：発生現況 平年並（±）
予察灯、フェロモントラップへの誘殺数はやや多～やや少（±）
気象予報 気温は高い（+）

(3) 防除上の留意点

- ア ほ場内や周囲の雑草除去（特にアブラナ科）に努める。
- イ 発生初期の防除に努め、同系統の薬剤の連用は避け、ローテーション散布を行う。
- ウ 薬剤散布を行う場合は、病害虫・雑草防除指導指針等を参考に薬剤を選定し、農薬使用基準を守る。

果樹等共通

1 【果樹カメムシ類】

- (1) 予想：発生量 **やや多**
- (2) 根拠：発生現況 フェロモントラップへの誘殺数は平年並～やや多（±）
気象予報 気温は高い（+）
その他 チャバネアオカメムシ等果樹を加害するカメムシ類の発生量には隔年性があり、本年は発生が多い年に該当する。今後、気温の上昇とともに活動が活発になると考えられる。

(3) 防除上の留意点

- ア 飛来状況は地域や園地で異なるため、定期的に園を見回り、飛来状況の把握に努め、幼果の被害を受けないよう注意が必要である。
- イ 発生や被害を認めたら速やかに防除する。
- ウ 薬剤散布を行う場合は、病害虫・雑草防除指導指針等を参考に薬剤を選定し、農薬使用基準を守る。

防除にあたっては病害虫・雑草防除指導指針の内容のほか、兵庫県総合防除計画を参照してください。

* 兵庫県総合防除計画は以下のURLに掲載

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/nk09/sougouboujyo.html>

* 病害虫・雑草防除指導指針 農薬の検索は以下のURLに掲載

<https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/noyakusearch/hyogo>

* 病害虫・雑草防除指導指針 参考資料は以下のURLに掲載

<https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/hyogo>

* この情報は、兵庫県病害虫防除所ホームページに掲載しています。

<https://boj.o.hyogo-nourinsuisangc.jp/>

兵庫県病害虫防除所 0790-47-1222

「兵庫県病害虫防除所」X(旧Twitter)にて情報発信中。

発生予察情報など病害虫に関する情報をいち早く提供しますので、フォローをお願いします。

Xアカウント (https://x.com/hyogo_boujoshu)

